

2月2日

金曜日

知の技創造
ものづくり大学発

▷ 99 ◁

その中で、砂面を投影面とをかたどり、そこに正確な色

また、噴水のように水を連

菅谷 諭 情報メカトロニクス学科教授

流動床I／Fの応用研究



すがや・さとし 博士(工学)。東北大学大学院修了、NEC、アリゾナ大学オプティカルサイエンスセンター、静岡理工科大学助教を経て現職。専門はオプトメカトロニクス。

その他に流動床現象の出現原理の解明を進めるとともに、医療応用では、自力で姿勢を変えられない人のポジショニング用具や癒やし用具の開発を埼玉県内の病院・企業と産学連携で実施している。さらに疑似体験型拡張現実（AR）と流動床I/Fを活用して、視覚と身体で水害を感じる洪水体験システムへの検討を進め防災訓練に応用している。また色々な触感を表現する触感再生装置への可能性を検討している。

映像を投影した流動床／Fに魚の模型を出し入れする様子